

小規模企業景気動向調査

[平成16年7月期調査]

製造業の景況 D.I.がプラスに再浮上した小規模景況

平成16年8月10日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成16年7月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

7月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス11.8(前月比プラス8.1ポイント)、採算がマイナス18.7(同プラス3.0ポイント)、資金繰りがマイナス19.0(同プラス2.5ポイント)、業況がマイナス18.9(同プラス6.2ポイント)となった。製造業は、自動車、デジタル家電を中心に改善が見られる。建設業は、引き続き、公共工事の縮小により低迷という回答が多く、全項目で悪化している。小売業は季節関連商品が好調、サービス業は旅館業に改善が見られた。今月期は、建設業を除く全業種で改善が見られ、産業全体でも明るい兆しが見えてきているという調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がプラス10.7(前月比プラス12.5ポイント)、採算がマイナス3.3(同プラス4.0ポイント)、資金繰りがマイナス3.8(同プラス5.1ポイント)、業況が0.0(同プラス9.5ポイント)となった。原材料価格の高騰、単価下落により採算は悪化しているとの回答が多く見られたものの、自動車、デジタル家電を中心に好調という回答が多く、売上額を中心に改善した。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス37.7(前月比マイナス1.1ポイント)、採算がマイナス44.8(同マイナス6.7ポイント)、資金繰りがマイナス44.3(同マイナス7.0ポイント)、業況がマイナス45.3(同マイナス3.3ポイント)となった。一部の地域では、災害復旧工事、市町村合併などの特需により回復しているが、依然として公共工事の減少が続いているという回答が多く、全ての項目において悪化している。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス8.2(前月比プラス13.8ポイント)、採算がマイナス12.8(同プラス11.6ポイント)、資金繰りがマイナス16.7(同プラス6.2ポイント)、業況がマイナス16.8(同プラス10.8ポイント)となった。大型店、コンビニの影響が大きく、依然として厳しい経営環境にあるものの、猛暑の影響により、飲料関係、夏物衣料、エアコン等が好調、オリンピックを控え、テレビ等のデジタル家電が好調という回答が多く、全ての項目で改善した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス11.9(前月比プラス7.5ポイント)、採算がマイナス13.7(同プラス3.0ポイント)、資金繰りがマイナス11.5(同プラス5.5ポイント)、業況がマイナス13.7(同プラス7.7ポイント)となった。洗濯業、理美容業は、チェーン店の出店による影響が大きく、厳しい状況が続いているという回答が多く見られたものの、夏休みに入り、一部地域の旅館業では観光客の増加により好調であるという回答が見られ、全ての項目で改善した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	19.9	11.8	8.1	1.8	10.7	12.5	36.6	37.7	1.1
採算	21.7	18.7	3.0	7.3	3.3	4.0	38.1	44.8	6.7
資金繰り	21.5	19.0	2.5	8.9	3.8	5.1	37.3	44.3	7.0
業況	25.1	18.9	6.2	9.5	0.0	9.5	42.0	45.3	3.3

業種	小売業			サービス業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	22.0	8.2	13.8	19.4	11.9	7.5
採算	24.4	12.8	11.6	16.7	13.7	3.0
資金繰り	22.9	16.7	6.2	17.0	11.5	5.5
業況	27.6	16.8	10.8	21.4	13.7	7.7

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:振興部 振興課 渡部 TEL:03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp